

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2018年3月26日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2871 9	サイトメガロ ウイルス核酸検出 (新生児尿) 5F194-1440-001-890	部分尿 0.2	ARR (r)	凍結 (42日)	3~9	850 ※6	等温核酸 増幅法	陰性	重 生後3週間以内に採取された新生児尿をご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーション(便を含む)の影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

※6：微生物学的検査判断料

● サイトメガロウイルス核酸検出（新生児尿）

先天性サイトメガロウイルス感染の診断補助に有用な定性検査です。

サイトメガロウイルス（CMV）は自然界に普遍的に存在するウイルスであり、乳幼児期に広く不顕性感染し、生涯にわたり潜伏感染します。一方で、妊婦が初感染または再感染した場合や妊婦の免疫力低下により再活性化した場合、胎児に進行性の難聴などの神経学的な後遺症をきたすことがあります。

日本における先天性CMV感染児は、年間約3,000人とされています。CMV抗体（IgG）が陰性の妊婦のうち、1～2%が妊娠中に初感染し、そのうち約40%が胎児感染に至ります。感染児の20%が症候性、80%が無症候性として出生しますが、無症候性でも遅発性の後遺症が出現することがあるため、継続的なフォローアップが必要となります。妊婦の抗体保有率が低下傾向にありCMV初感染リスクが高まっていること、感染児への早期介入・治療により予後の改善が見込めることから、新生児に対する適切な診断を早期に行うことが求められています。

本項目は、先天性CMV感染が疑われる生後3週間以内の新生児を対象に、尿中のCMVの核酸を検出する定性検査です。出生直後の感染と区別するために、生後3週間以内に採取した尿での測定が推奨されています。

▼ 疾患との関連

先天性サイトメガロウイルス感染

▼ 関連する主な検査項目

サイトメガロウイルスIgG
サイトメガロウイルスIgM

▼ 検査要項

検査項目名	サイトメガロウイルス核酸検出（新生児尿）
項目コードNo.	2871 9
検体量	部分尿 0.2 mL
容器	ARR (r) 滅菌ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	3～9 日
検査方法	等温核酸増幅法
基準値	陰性
検査実施料	850点 （「D023」微生物核酸同定・定量検査「14」*） *平成30年4月以降の区分番号です。
判断料	150点（微生物学的検査判断料）
備考	重 生後3週間以内に採取された新生児尿をご提出ください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーション（便を含む）の影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

● 参考文献

Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3) : 257～262, 2007. （検査方法参考文献）

森内 昌子, 他 : SRL宝函 38 (4) : 38～41, 2018. （臨床的意義参考文献）